

GOVERNANCE AUTOMATION

FOR MICROSOFT® SHAREPOINT® & OFFICE 365® ガバナンス

自動化で実現する、ガバナンスの効いた SharePoint 環境

DocAve Governance Automation 導入のメリット



エンドユーザーが必要とするコンテンツやサービスを迅速・簡単に提供しつつ、ポリシーが組織全体で透明性をもって遵守されることを保証します。

カタログ化されたサービスと自動化された承認プロセスにより、組織内での設定と構成の標準化・統一を実現します。

IT 部門の負荷を軽減しつつ、エンドユーザーに提供する IT サービスの質を向上させることが可能になります。



コンテンツの適切な格納場所の設定からコンテンツのアーカイブ、そして保持ポリシーで定められた期間経過後のデータ消去に至るまで、コンテンツが作成されてから消去されるまでの全過程を把握・管理を強化し、IT 管理者が抱えるデータガバナンス ニーズに応えます。



データが実際に作成される前の段階でもカバーする、包括的なデータガバナンス戦略を提供します。

組織のポリシーに準拠したワークスペースを導入し、複数段階の承認プロセス・反復して使用できる権限管理レビューを組み込むことにより、データセキュリティを最大限に高めることができます。

Policy Enforcer の活用により、機能・アクセス権限・設定に対する不適切な変更の実行を防止し、組織内ポリシーと業界特有のポリシーに沿った形でコンプライアンスが遵守される環境を実現します。

DocAve Governance Automation でできること

Governance Automation は、各エンドユーザーに、ロール (役割) と業務内容に基づいて構成されたサービス カタログを提供します。

利用できるサービスは、SharePoint / Office 365 環境での払い出し・コンテンツの再構成に加え、ライフサイクルおよび権限管理要求、異なる SharePoint バージョン間やサイト間でのコンテンツ移行など、豊富な種類を誇ります。

Governance Automation は、単なる厳密な規定とセキュリティ管理ソリューションの枠を超え、実際のポリシーと、企業内で自然発生的・慣習的に育ってきたガバナンス ポリシーとの差によって生じてしまったギャップを埋めることを可能にします。

技術概要

- SharePoint 2016/2013/2010・SharePoint Online (Dedicatedおよびマルチテナント)・SharePoint Foundation・ハイブリッドクラウド環境に対応
- 複雑な展開条件にも対応可能な、柔軟なロジックを組み入れた IT サービスリクエストフォーム動的サービス作成機能で、メンテナンスの手間を抑制しつつ生産性を向上
- 適切な監査・バックアップ・ブランディング・アーカイブ・ストレージ・権限などの各ポリシーをサイト・サイトコレクション・Office 365 グループの作成時に適用し、IT管理者の作業負担を軽減
- 現行の IT サービス管理システム・外部ワークフローシステム・SharePoint を統合して Governance Automation の持つクライアント拡張 API を活用することにより、既存インフラへの影響を最小化
- Nintex や K2 など、サードパーティによるワークフローシステムの承認プロセスを自動化し、SharePoint の外部にまでポリシーを適用
- サイト提供および管理などの SharePoint 管理タスクと、関連するポリシーやメタデータ・承認プロセス・権限監査パラメーターを定義



ビジネスコンテンツ所有者や IT 管理者は、ロール (役割) および業務を基準に構築されたサービスカタログに、SharePoint から直接アクセスすることができます。これにより、組織全体で SharePoint/Office 365 グループ管理ポリシーが自動的に守られる環境を実現します。

利用可能なサービス リクエスト タイプ

展開	<ul style="list-style-type: none"> ポリシーに準拠した Office 365 グループ・サイトコレクション・サイト・リスト/ライブラリを、SharePoint で自動的に展開 申請者や申請内容に基づき、リクエストフォームのフィールドやオプションに条件付きロジックを適用ポリシーに準拠したサイトコレクション・サイト・リスト・ライブラリ・個人サイトなどを SharePoint 内で自動展開 コンテンツタイプや Web パーツ・テーマ・リストテンプレートなどのギャラリーアイテムを展開し、サイトコレクション内の統一性を担保 企業内で分類基準を統一し、Managed Metadata Service の用語を使用したサイトコレクションメタデータの割り当てを実行 フレキシブルなポリシーウィザードを活用してポリシー定義の使用を中央化するとともに、適切なポリシーを再利用することにより、Office 365 グループ管理やストレージ管理やサイトリースなどに対するサービス要求の統合を実現
ライフサイクル管理	<ul style="list-style-type: none"> 自動生成のレポートや承認プロセスを活用し、あまり使用されていない、もしくはリース期限の切れてしまったサイトを管轄する責任者に対してサイトの削除、もしくはアーカイブ化を促進 コンテンツの所有者が誰であるのが把握しやすくなることにより、割り当てられたビジネスユーザーが Office 365 グループ・サイト・サイトコレクションを、ライフサイクルを通じて責任を持って管理する状況を実現 変化していくビジネス要件に合わせてサイトコレクションの所有者・分類・コンテンツポリシーなどの要素を管理 エンタープライズコンテンツの移行や再構築を、コンテンツ・構成・セキュリティ設定・メタデータなどをすべて保持したまま自動化 コンテンツの所有者本人が移行を要求することができるため、SharePoint の最新バージョンや Office 365 への移行の全体像が見えやすくなり、移行プロジェクトの負担を軽減 テスト環境と本番環境でサンプルデータを要求する機能を使用することにより、アプリケーションの信頼性を向上 複数ステージで構成された所有権指名の自動プロセスにより、ライフサイクルに関する意思決定を促進するとともに、所有権に関する情報が最新に保たれることを保証
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> リクエストや権限変更処理をすべて監査・追跡 SharePoint・Office 365 へのアクセス要求をサービス要求にリダイレクトすることにより、組織のセキュリティポリシーに沿った形でコンプライアンスが遵守されることを保証 カスタマイズした権限割り当てを直接付与・移譲・クローン、SharePoint グループ毎に権限割り当ても可能 すべてのユーザーの権限を定期的にチェックするタスクをサイトコレクションのビジネス管理者にアサインし、すべてのユーザー権限を定期的にチェック

すべての AvePoint ソフトウェアと同様、DocAve Governance Automation では Microsoft に完全サポートされた手法およびAPIのみを使用しています。

Governance Automation に関するお問い合わせ

電話: (03) - 6853 - 6300
E-mail: SalesJP@AvePoint.com

AvePoint Japan 株式会社
〒108-0074
東京都港区高輪 4-10-18
京急第一ビル 11F

AvePoint Japan 公式 Web サイト: www.avepoint.co.jp
アポイントジャパン ブログ: www.avepoint.co.jp/community/

その他ご希望の方はお問い合わせください。